

# 台風 18 号災害に関する検証のまとめについて

平成 25 年 11 月

市民部生活安全課

## 目次

台風18号の気象の状況、被害の状況、 災害対応に係る問題点と課題	P1
今後の対応策について	P2

## 資料

・水防体制・災害対策本部の経緯	P3
・被害状況	P4

## はじめに

台風18号では、気象庁から全国初となる特別警報が発表され、市内全域でも総雨量340ミリを超える豪雨となり、河川の増水や土砂崩壊等の大きな被害を受けました。この災害を教訓として災害の強いまちづくりに資するため、今回、災害対策本部事務局にて、庁内関係会議の結果や職員からの意見を踏まえ、対応内容を取りまとめました。

今後、これらの内容を災害時の応急対策において迅速な実践活動として反映できるよう、危機管理体制の強化に努めていきたいと考えております。

また、被災者への支援対策につきましては、物心両面にわたり支援をしていきます。

## 1 気象の状況

台風第18号は、日本の南海上を北上し、大型の勢力を保ったまま16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した後、本州中部を北東に進んだ。この台風を取り巻く雨雲や湿った空気が次々と流れ込んだため、滋賀県では記録的な大雨となり、16日午前5時5分に滋賀県（豊郷町を除く）に大雨特別警報が発表された。

降り始めの9月15日0時から16日16時までの総雨量は、高島市朽木平良494.5mm、甲賀市土山まで364.5mm、甲賀市信楽で332.0mm、大津市萱野浦で328.0mm、を観測し、野洲市344mmを観測し各地で記録的な大雨となった。【アメダス情報】

## 2 被害の状況

今回の台風により、妓王井川、新川沿川等の河川増水や、広範囲に道路が冠水するとともに、豪雨により地盤がゆるんだことから山手付近の妙光寺、入町等の土砂崩落や、土砂流出が14箇所が発生した。

また、強風により、家屋の一部損壊や倒木による家屋等損壊3件、その他には床下浸水で27棟となった。さらに、想定を超える豪雨と急激な水位上昇であったため、妓王井川、新川等は越水し、市街地を中心に浸水するとともに、平野部での農地被害は、約44.12haで農作物が冠水するなど広範囲にわたり被害が発生した。

また、道路等では7箇所で行き止まりを実施したほか、下水道機能が一部停止し、ライフラインにも影響をもたらした。

## 3 災害対応に係る問題点と課題

今回の台風においては、9月16日4時30分に野洲市災害対策本部を設置し、防災情報の伝達・収集にあたるとともに、防災行政無線等による避難体制の準備を促し、5時40分には、日野川沿川関係5自治会を対象とした避難勧告を発令し、8時32分には避難指示を発令した。同様に、野洲川の水位が上昇し、9時17分には、野洲川沿川での3学区(三上、野洲、北野)の関係自治会に対し、避難準備情報を発令し、住民の避難誘導や避難所の運営を行った。

以上の想定外の災害が発生したことから、水防班の活動情報と災害対策本部の情報の共有が出来なかった。また、円滑な命令系統の一本化が図れなかったこと等 災害対策本部へ情報伝達と指揮命令が課題となった。

また、避難情報が住民に伝わらなかった事例、避難情報の伝達方法や、避難所の運営

状況、住民への防災啓発などの避難体制の整備に関する課題が明らかになった。

今回の台風災害における対応状況を検証項目として、「災害対策本部の強化」「指揮命令系統の一本化」、「市民への情報伝達や庁内の情報共有のあり方」「避難所の選定及び運営」の4項目について検討を行い今後の対応策についてとりまとめた。

## 今後の対応策について

### 1. 災害対策本部の強化

【課題1】 災害対策本部に情報の共有、受け渡しが円滑にできなかった。

⇒対応 …災害対策本部設置の明確な設置基準を設定する。

水防本部と災害対策本部の相互連絡員を確保し、情報収集・伝達・共有・記録体制の整備を図る。

【課題2】 水防活動と災害対策本部で職員が重複し、災害対策本部移行後に迅速な初動要員が確保できなかった。

⇒対応 …水防班体制から災害応急対策への動員、交代を含めた人員体制の見直しを行う。

### 2. 指揮命令系統の一本化（庁内の情報共有のあり方）

【課題3】 指示命令系統で統一できない事例や情報共有の一元化が図れなかった。

⇒対応 …防災訓練や図上訓練の実施や、災害状況下での役割分担の再確認や、新たに風水害編初動対応マニュアルの作成を行うとともに指揮命令のルール作りを行う。

### 3. 災害情報の市民への情報伝達

【課題4】 今回の暴雨風時では「防災行政無線の内容が聞き取りにくかった。」と多くの市民から意見が寄せられた。

⇒対応 …現在運用している防災行政無線設備の音声到達や伝達機能の再確認を行う。

また、無線設備の操作方法も再確認を行う。

さらに、市民への情報伝達の複合的な活用として、防災行政無線のほか、市HP、緊急速報メール、市防災情報メールを通じ情報伝達を行う。

…市HPを通じ、災害情報を発信できるよう、広報担当を財務情報班員より予め専任する。

### 4. 避難所の管理及び運営

【課題5】 風水害での避難所の開設について

⇒対応 …避難所開設前からの連絡体制や統一的な避難所運営ルールの周知・マニュアルの作成を行い、安全な避難所の運営への体制を整備する。

【課題6】 避難所の運営で情報共有が図れなかった。

⇒対応 …避難者への災害情報の伝達を含めた避難所への通信・連絡手段の確保を行うとともに、情報が途絶えた場合でも自立的な活動体制の避難所のマニュアルについて事前準備を行う。

さらに職員の動員体制、物資準備等ならびに避難者ニーズの支援体制についても事前検討を行う。

## 台風 18 号に対する水防体制・災害対策本部の経緯

- 9月15日 18:48 大雨警報（土砂災害）発令  
19:30 道路河川課水防第1班 招集  
市内パトロール  
21:00 水防第5班 招集  
市内パトロール  
21:13 大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報発令  
23:00 水防第7班 招集  
土のう作成、設置  
24:00 水防第9、1、3班招集  
土のう作成、設置、交通誘導員（通行止め）
- 9月16日 4:20 水防本部会議  
4:30 災害対策本部設置  
4:30 水防第2、4、6、8、10班招集  
土のう作成、設置、交通誘導員（通行止め）  
5:05 大雨特別警報発令  
5:40 避難勧告（日野川）  
6:00 日野川桐原橋 避難判断水位超過（3.8m～）  
8:32 避難指示（日野川）  
9:00 日野川桐原橋 はんらん危険水位超過（5.1m～）  
9:17 避難準備情報（野洲川）  
10:00 日野川桐原橋 最大水位（5.59m）  
11:30 大雨特別警報解除、大雨警報（浸水害）解除  
12:30 避難指示（日野川）解除→避難勧告（日野川）  
避難準備情報（野洲川）解除  
13:20 避難勧告（日野川）解除  
13:20 災害対策本部解除  
14:30 水防奇数班、偶数班（2、4、10班）解除  
16:13 警報解除  
18:00 水防偶数班（6、8班）解除  
20:20 市道規制全解除  
20:30 道路河川課水防班解除

## 台風18号による被害状況について

現在確認されている台風18号による被害状況は下記の通りです。

(平成25年10月5日現在)

### ■人的被害

被害なし

### ■建物被害

- ・家屋損壊 3軒
  - ・市三宅 2軒 (電柱倒壊により家屋損壊)
  - ・南桜 1軒 (倒木により家屋損壊)
- ・床下浸水 27棟
  - ・行畑 7棟
  - ・妙光寺 2棟
  - ・小篠原 5棟
  - 駅前 5棟 (内3棟は非住宅床上浸水含む)
  - 大篠原 2棟
  - 富波湖州平 1棟
  - 入町 1棟
  - 北 2棟
  - 富波乙 2棟
- ・雨漏れ等 2軒
- ・車への浸水 3台

### ■土砂崩れ 14箇所

- 入町 2箇所
- 妙光寺 3箇所
- 北桜 1箇所
- 南桜 2箇所
- 三上 1箇所
- 大篠原 3箇所
- 桜生 1箇所
- 小篠原 1箇所

### ■ライフライン

下水道機能の一部停止 (農業集落排水を除く)

9/16 未明より、下水道幹路に雨水が浸入した模様。9/18午前6時の復旧まで、使用自粛の呼びかけを行った。

### ■上下水道課による消毒作業 5件

- 西河原 1件
- 比留田 2件
- 虫生 2件

## ■道路被害

市道（未舗装砂）の表面侵食 2箇所（妙光寺地先、北桜地先）

通行止め 7箇所（9月16日20時20分 市道全線通行止め解除）

- ①西河原地先 さざなみホール前（県道野洲中主線）
- ②中北地先 市道市三宅小南線（県道野洲中主線～県道近江八幡守山線）
- ③冨波甲地先 市道辻町小比江線（図書館～JR地下道～市道久野部小南線）
- ④冨波乙地先 市道辻町五之里線（JR地下道）
- ⑤冨波乙地先 市道小篠原上屋線（黒田紙業前付近）
- ⑥駅前地先 市道小篠原稲辻線（滋賀銀行～野洲小学校裏付近～行事神社付近）
- ⑦行畑地先 市道市三宅妙光寺線（清流～新幹線付近）

## ■河川被害 2箇所

ブロック護岸の一部倒壊 1箇所（米井農業用水路 小篠原地先）

水路内土砂堆積 1箇所（普通河川 東林寺地先）

## ■避難状況 257世帯652人

コミセンしのはら	118世帯	317人	避難搬送5名（高木3名、長島2名）
篠原小学校体育館	22世帯	57人	
篠原こども園	109世帯	249人	
コミセンみかみ	1世帯	5人	
妙光寺公民館	4世帯	15人	
比留田自治会館	2世帯	7人	
北桜自治会館	1世帯	2人	

## ■農作物被害状況 44.12ha 被害見込み金額 624万円

（内訳）

果樹（落果）	0.3ha
野菜（浸水）	0.12ha
水稻（冠水）	30.0ha
大豆（浸水）	10.0ha
水稻（切りわら）	3.7ha

## ■農業用施設被害状況 被害見込み金額 4,759万円

ビニールハウスの全壊、一部損壊

獣害ネット、果樹ネットの全壊、一部損壊

## ■林地等被害状況 1.36ha 被害見込み金額 8,550万円

林野荒廃被害（山腹）

妙光寺 0.76ha 大篠原 0.6ha